



平成 29 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 日本ユピカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山根 祥弘
 (JASDAQ・コード7891)
 問合せ先 役職 常務取締役管理部長
 氏名 塚田 和男
 電話 03-6850-0261

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期業績予想と実績との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想と、本日公表の実績における差異、及び通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）業績予想の修正につきましてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）における、予想数値と実績との差異

(1) 個別

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	4,735	125	88	32.03
実績値 (B)	4,882	236	164	59.83
増減額 (B-A)	147	111	76	—
増 減 率	3.10%	88.80%	88.36%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	4,751	299	210	76.75

(2) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	5,400	120	120	85	30.94
実績値 (B)	5,511	199	206	154	56.25
増減額 (B-A)	111	79	86	69	—
増 減 率	2.06%	65.83%	71.67%	81.18%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	5,240	286	258	195	71.18

(3) 差異理由

個別業績におきましては、輸送機器用途、メタクリル酸エステル類、エポキシアクリレート樹脂等が好調に推移し、販売数量は当初の予想を上回る結果となり、売上高、利益ともに増加となりました。連結業績では、中国子会社においては当初の予想は未達となりましたが、個別業績により売上高、利益ともに増加となりました。

2. 平成30年3月期 通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）における、業績予想の修正

(1) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	9,530	385	270	98.27
今回修正 (B)	9,840	620	430	156.50
増減額 (B-A)	310	235	160	—
増減率	3.25%	61.04%	59.26%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	9,626	759	538	195.84

(2) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	11,060	405	390	275	100.09
今回修正 (B)	11,450	590	570	405	147.40
増減額 (B-A)	390	185	180	130	—
増減率	3.53%	45.68%	46.15%	47.27%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	10,773	749	713	512	186.46

(3) 修正の理由

通期業績予想につきましては、個別業績では上期の増加分に加え、下期においても引き続き売上高、利益ともに当初の予想を上回る見込みとしております。連結業績では個別業績による売上高、利益の増加に加え、中国子会社においては販売数量増等により売上高増となりますが、原料コストアップ等により利益率は低下となり利益減の見込みとしております。

以上

- * 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
- * 当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。